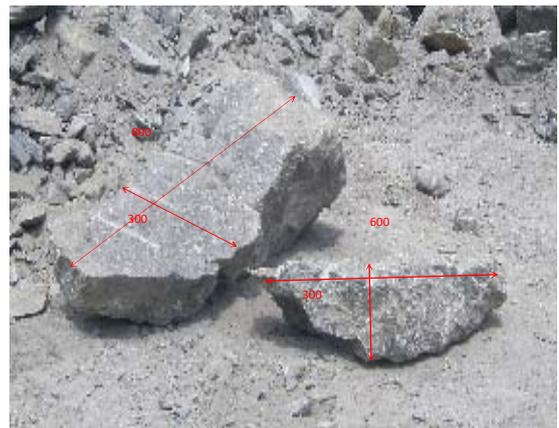
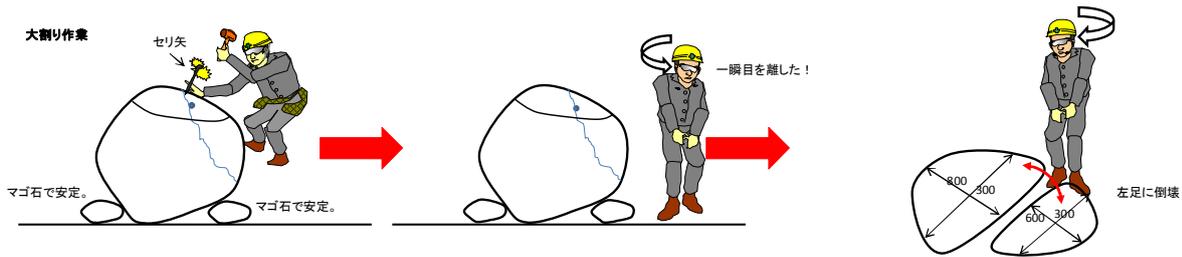


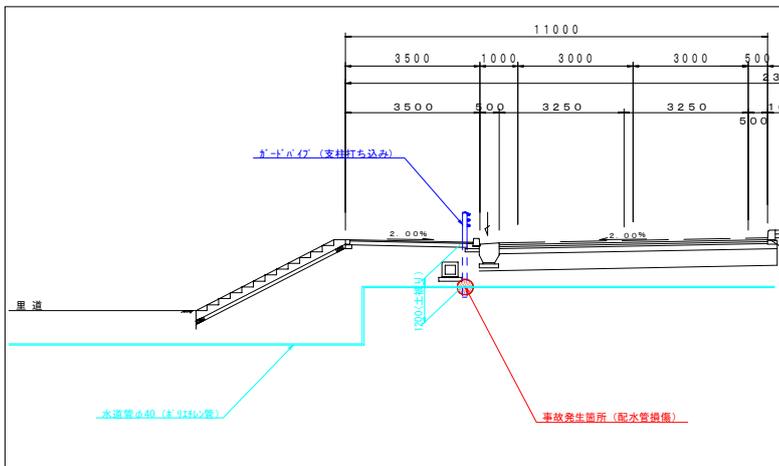
事故種類	労働災害	発生日時	平成22年5月17日 11時31分		
事故区分	労働災害	年齢性別	54歳 男性	職種	石工
被災程度(全治)	左第1趾、2趾末節骨開放骨折(4週間の加療を要する見込み)				
事故概要	巨石置場において巨石を300×400×200程度に加工するため、セリ矢を打込む大割(一旦200程度の幅に輪切りすること)の作業を行っていた。大割作業により巨石にクラックが入ったことは確認したが、まだ完全に割れていないと判断し、目を離れた瞬間に、巨石の片方(600×300×200程度)が倒れ左足指の先端に接触し負傷した。				
4 事故原因等	連日の同作業で慣れによる安全意識が欠如していた。また、施工計画書及び作業手順書の遵守において日々指導を徹底していたが、被災した作業員の不注意と、定められた保護具の着用を怠ったために起きた事故である。				
改善策等	決められた作業手順の遵守はもとより、決められた保護具の着用を遵守すると共に、保護具着用の確認を徹底する。慣れによる事故防止のため、当日の作業に対するKY活動・個人KY(安全指示、対策、注意点)の再度周知徹底を行う。				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全靴等の保護具着用の徹底。</li> <li>・KY活動、安全教育において、作業中のわき見禁止を徹底するよう指導。</li> </ul>				

## 事故状況図



事故種類	一般事故	発生日時	平成22年5月26日 12時00分		
事故区分	公衆災害	年齢性別		職種	
被災程度	上水道(配水管φ40)の損傷及び復旧作業に伴う周辺民家2軒の断水(約50分間の断水)				
事故概要	横断防止柵(ガードパイプ)の支柱をモンケンで打ち込み作業中、埋設されている上水道(配水管φ40)を破損、漏水したため、周辺民家2軒の水道の水圧が低下した。その後、復旧作業に伴い、50分間断水した。				
事故原因等	事前に大分市水道局立会のもと埋設管調査を行ったところ、埋設位置が浅いため、配水管の移設を行うとの話があった。移設完了時に埋設管の位置・深さの立会を実施したが、横断防止柵の施工を考慮せず、現地のマーキングを怠っていた。そのため、作業当日に下請けに対し、埋設管の正確な位置を指示できなかった。				
5 改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 占用企業者と現地立会を実施する際は、必ず元請職員の複数で行い、実施できない場合は、写真で埋設位置を記録する。また立会の際には、必ず設計図面を携行する。</li> <li>● 元請は、事前調査で記録した位置を作業開始前に現地でマーキングし、埋設位置を明確にする。</li> <li>● 元請は、現場事務所で実施する作業前ミーティングで、埋設物の位置・深さを下請へ指示する。</li> <li>● 埋設位置が不確定な場合は、試掘再調査を実施し、埋設位置が確定できるまで、下請に施工指示しない。</li> <li>● 試掘調査が実施できない場合は、占用企業者への聞き取り調査及び探査機による埋設物調査を再度実施し、支障となる場合は、構造見直しを行う。</li> <li>● 下請は、埋設位置が不確定な場合、元請に対し指示を仰ぎ、正確に指示されない場合は施工しない。</li> <li>● 埋設物近接の箇所については、作業終了まで埋設位置が確認できる元請職員が立会する。</li> </ul>				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	特記仕様書に記載されている「地下埋設物件の事故防止対策」を徹底する。				

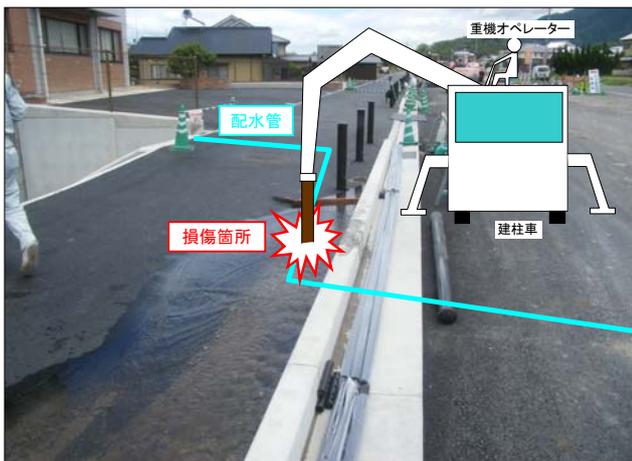
### 施工図



### 被災状況②



### 被災状況①



### 被災状況③

